

2025 年 1 月 31 日

第 178 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

[調査要領]	
対象期間	2024 年 10～12 月期実績見込み 2025 年 1～3 月期見通し
調査時期	2024 年 12 月下旬
調査方法	インターネット及び郵送
対象企業	県内主要企業 485 社
回答企業数	312 社（回答率 64.3%）
特別質問項目	鹿児島県の景気の現状などについて CO ₂ 排出量削減について

用語 今期＝2024 年 10～12 月期 来期＝2025 年 1～3 月期
前期＝2024 年 7～9 月期 前年同期＝2023 年 10～12 月期
D.I. ＝「良い」－「悪い」、「増加」－「減少」、いずれも回答企業割合

「調査結果のポイント」

- ・ 業況 D.I.…今期 ▲5。前期の ▲16 から 11 ポイント増と **大幅に改善**。
来期 ▲13。今期より 8 ポイント減と **悪化** の見込み。
- ・ 販売価格 D.I.…今期 37。前期（40）から 3 ポイント減と **やや下落**。
来期 36。今期から 1 ポイント減と **ほぼ横ばい** の見込み。
- ・ 仕入価格 D.I.…今期 71。前期（73）から 2 ポイント減と **やや下落**。
来期 65。今期から 6 ポイント減と **下落** の見込み。
- ・ 雇用人員 D.I.…今期 ▲51。前期（▲46）から 5 ポイント減と **下落**。
来期 ▲52。今期から 1 ポイント減と **ほぼ横ばい** の見込み。
- ・ 経営上の問題点…
「人手不足・求人難」（前期 57%）が 58% で最も多く、これに「原材料(仕入品)価格高」の 57%（同 57%）、「人件費等各種経費高」の 39%（同 41%）が続いた。

●鹿児島県の景気の現状などについて

- ・ 本県の景気の現状について、「横ばい」と回答した企業割合が 71%と最も多かった。また、「拡大している」「緩やかに拡大している」と回答した企業割合の合計は 13%で、前回調査（23 年 12 月）の 29%から 16 ポイント減少した。一方、「緩やかに後退している」「後退している」と回答した企業割合の合計は 16%で、前回調査時の 13%から 3 ポイント上昇した。その結果、D.I. は▲3 となり、前回調査の D.I.（16）から 19 ポイント下落した。

● CO₂ 排出量削減について

- ・ CO₂ 排出量削減目標の策定状況について尋ねたところ、「策定している」（14%）、「策定を検討している」（25%）と回答した企業割合の合計は 39%となった。また、カーボンクレジットの活用については、「既に活用している」（5%）、「活用を検討している」（12%）と回答した企業割合の合計は 17%となった。

1. 今期の業況 ～大幅に改善

今期の業況 D.I.は▲5 で、前期（▲16）から 11 ポイント増と大幅に改善した（図表 1）。物価高や人手不足の影響は根強いものの、賞与支給や年末年始に向けた需要増加もあり、業況は緩やかに改善している。

業況 D.I.を業種別（大分類）でみると、卸売業（前期▲35→今期▲15）が 20 ポイント増、その他産業（同▲9→8）が 17 ポイント増、建設業（同▲9→4）が 13 ポイント増、製造業（同▲30→▲20）が 10 ポイント増と大幅に改善した。一方、小売業（同 5→▲2）は悪化した（図表 1）。

業種別（中分類）でみると、年末年始の宿泊需要や忘年会等の外食需要の増加により、その他産業の旅館・ホテル（同▲51→30）や外食（同 15→29）、卸売業の食料品（同▲18→29）が大幅に改善したほか、馬毛島関連等の公共工事により建設業のその他建設（同 0→40）、総合建設（同 0→13）、製造業の窯業・土石（同▲57→▲11）、卸売業の建設資材（同▲50→▲29）も大幅に改善した（図表 2）。また、型式認証不正に伴う生産・販売停止が解除された小売業の自動車（同▲20→▲9）も大幅に改善し、製造業の木材（同▲75→▲50）、その他製造業（同▲71→▲33）もマイナス圏ながら大幅な改善となった。一方、電子部品の需要回復が遅れる製造業の電機・電子（同 14→0）や夏場のエアコン需要が一服した小売業の家電製品（同 100→50）、仕入価格上昇や価格転嫁難から卸売業のその他卸売（同▲37→▲67）、小売業のその他小売業（同 17→0）は大幅に悪化した。

2. 来期の業況見通し ～悪化

来期の業況見通し D.I.は▲13 で今期（▲5）から 8 ポイント減と悪化の見込み（図表 1）。業況見通し D.I.を業種別（大分類）にみると、その他産業（今期 8→来期▲10）と建設業（同 4→▲6）が大幅悪化の見込みで、製造業（同▲20→▲23）も悪化の見込み。また、小売業（同▲2→▲2）は横ばい、卸売業（同▲15→▲16）はほぼ横ばいの見込み。

3. 販売価格 D.I. ～今期やや下落、来期ほぼ横ばい

今期の販売価格 D.I.は 37 で前期（40）から 3 ポイント減とやや下落した（図表 1）。

来期の販売価格 D.I.は 36 で今期（37）からほぼ横ばいの見込み。

4. 仕入価格 D.I. ～今期やや下落、来期下落

今期の仕入価格 D.I.は 71 で前期（73）からやや下落した（図表 1）。

来期の仕入価格 D.I.は 65 で今期（71）から 6 ポイント減と下落する見込み。仕入価格上昇の動きは弱まる見込み。

5. 設備投資 ～実施した企業割合は減少

今期、設備投資を実施した企業割合は 33%と、前期（39%）から減少した（図表 6、7）。**来期に設備投資**を予定する企業割合は 34%と、今期（33%）からほぼ横ばいの見込み。

6. 経営上の問題点（内部環境・外部環境）

～「人手不足・求人難」が最多

経営上の問題点（内部環境・外部環境）は、「人手不足・求人難」が 58%（前期 57%）で最も多く、これに「原材料（仕入品）価格高」の 57%（同 57%）、「人件費等各种経費高」の 39%（同 41%）が続いた（図表 8、9）。

7. 鹿児島県の景気の現状などについて

本県の景気の現状について、「横ばい」と回答した企業割合が 71%と最も多かった（図表 10）。また、「拡大している」「緩やかに拡大している」と回答した企業割合の合計は 13%、「緩やかに後退している」「後退している」と回答した企業割合の合計は 16%となり、D.I.は▲3 となった。今回は前回調査（23 年 12 月）の D.I.（16）から 19 ポイント下落した。業種別にみると、建設業では横ばいだ

ったが、製造業、卸売業、小売業、その他産業では大幅に下落した。

「拡大している」または「緩やかに拡大している」とした要因は、「個人消費の回復」（62%）が最も多く、次いで「外国人観光客の増加」（59%）、「雇用・所得環境の改善」（36%）、「日本人観光客の増加」（33%）の順となり、賃上げや定額減税など所得環境の改善による個人消費の回復とインバウンドの増加を反映した結果となった（図表 11）。

「緩やかに後退している」または「後退している」とした要因は、「燃料・原材料の価格高騰」（77%）が最も多く、次いで「個人消費の低迷」（71%）、「人手不足」（48%）、「光熱・水道費の高止まり」（44%）、「雇用・所得環境の悪化」（35%）などの順となった。

本県の景気が本格回復する時期を尋ねたところ、「1 年超（2026 年以降）」が 43% と最も多く、次いで「1 年後（2025 年後半）」（16%）が続いた（図表 12）。前回と比較すると「1 年超」が前回（34%）より 9 ポイント増加しており、景気の回復時期が遅れると考える企業が増えていることがうかがえる。一方、「本格回復しない」は 29% で、前回（24%）より 5 ポイント増加した。

今後の本県の景気における期待材料については、「外国人観光客の増加」が 52% と最も多く、次いで「個人消費の回復」（45%）、「雇用・所得環境の改善」（44%）、「日本人観光客の増加」（31%）の順となった（図表 13）。

今後の本県の景気における懸念材料については、「燃料・原材料の価格高騰」が 65% と最も多く、次いで「人手不足」（61%）、「個人消費の低迷」（54%）、「光熱・水道費の高止まり」（39%）、「雇用・所得環境の悪化」（30%）の順となった（図表 14）。

政府に対して期待する経済対策については、「物価対策（ガソリン価格抑制等）」が 67% と最も多く、次いで「雇用対策（賃上げ助成等）」（47%）、「人手不足解消策」（42%）、「少子化対策」（36%）、「所得対策（給付金等）」（33%）、「法人税の減税」（31%）の順となった（図表 15）。

8. CO₂ 排出量削減について

国は 2050 年のカーボンニュートラル（実質排出ゼロ）に向け、温暖化ガス削減と脱炭素技術の開発を通じた経済成長の両立を目指しており、県内でも県や民間事業者で CO₂ 排出量削減などに向けた取り組みが始まっていることを受け、**自社で CO₂ 排出量削減目標を策定しているか**尋ねたところ、「策定している」は 14%、「策定を検討している」は 25% で、策定に前向きな企業の割合は 39% となった（図表 16）。一方、「策定（検討）はしていない」は 61% だった。

また、取引先から **CO₂ 排出量削減要請があるか**尋ねたところ、「ある」は 5%、「今後要請される可能性がある」は 23%、「ない」は 72%だった（図表 17）。

カーボンクレジットの活用については、「カーボンクレジットについて知っているが、活用の予定（必要）はない」が 61%で最も多く、「既に活用している」が 5%、「活用を検討している」が 12%となり、活用について前向きな回答した企業の割合は 17%にとどまった（図表 18）。また、「カーボンクレジットという制度を初めて聞いた」は 23%であった。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

（株）九州経済研究所（TEL 099-225-7491）

《資料編》

第 178 回 県内 企業・業況調査結果集計表

図表 1 各項目 D. I.

単位：％

状 況 項 目	2024年7～9月期				2024年10～12月期						2025年1～3月期				
	前期 実績				今期 実績						来期 見通し				
	良い	普通	悪い	D. I.	良い	普通	悪い	D. I.	差 (今期－前期)		良い	普通	悪い	D. I.	差 (来期－今期)
	増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)－(C)	増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)－(C)			増加 (A)	同程度 (B)	減少 (C)	(A)－(C)	
自社の業況	13	58	29	▲ 16	15	65	20	↑ ▲ 5	(11)		8	71	21	↓ ▲ 13	(▲ 8)
製造業	11	48	41	▲ 30	12	56	32	↑ ▲ 20	(10)		8	61	31	↓ ▲ 23	(▲ 3)
建設業	6	79	15	▲ 9	17	70	13	↑ 4	(13)		11	72	17	↓ ▲ 6	(▲ 10)
卸売業	3	59	38	▲ 35	16	53	31	↑ ▲ 15	(20)		6	72	22	↓ ▲ 16	(▲ 1)
小売業	26	53	21	5	12	74	14	↓ ▲ 2	(▲ 7)		5	88	7	- ▲ 2	(0)
その他産業	16	59	25	▲ 9	19	70	11	↑ 8	(17)		8	74	18	↓ ▲ 10	(▲ 18)
生産高(製造業)	15	41	44	▲ 29	16	47	37	↑ ▲ 21	(8)		10	58	32	↓ ▲ 22	(▲ 1)
売上・完工高	25	46	29	▲ 4	27	49	24	↑ 3	(7)		16	63	21	↓ ▲ 5	(▲ 8)
製造業	18	36	46	▲ 28	21	39	40	↑ ▲ 19	(9)		17	54	29	↑ ▲ 12	(7)
建設業	19	60	21	▲ 2	17	74	9	↑ 8	(10)		13	78	9	↓ 4	(▲ 4)
卸売業	17	55	28	▲ 11	28	41	31	↑ ▲ 3	(8)		25	50	25	0	(3)
小売業	36	50	14	22	30	58	12	↓ 18	(▲ 4)		12	74	14	↓ ▲ 2	(▲ 20)
その他産業	32	43	25	7	33	47	20	↑ 13	(6)		16	65	19	↓ ▲ 3	(▲ 16)
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足								
製造業	10	82	8	2	9	80	11	↓ ▲ 2	(▲ 4)						
建設業	10	79	11	▲ 1	10	73	17	↓ ▲ 7	(▲ 6)						
卸売業	2	93	5	▲ 3	3	90	7	↓ ▲ 4	(▲ 1)						
小売業	11	89	0	11	16	78	6	↓ 10	(▲ 1)						
その他産業	17	76	7	10	14	79	7	↓ 7	(▲ 3)						
その他産業	9	82	9	0	7	85	8	↓ ▲ 1	(▲ 1)						
損 益	好転	横ばい	悪化		好転	横ばい	悪化				好転	横ばい	悪化		
	16	56	28	▲ 12	19	53	28	↑ ▲ 9	(3)		10	67	23	↓ ▲ 13	(▲ 4)
製造業	11	49	40	▲ 29	17	43	40	↑ ▲ 23	(6)		12	56	32	↑ ▲ 20	(3)
建設業	11	74	15	▲ 4	15	67	18	↑ ▲ 3	(1)		9	84	7	↑ 2	(5)
卸売業	7	72	21	▲ 14	22	47	31	↑ ▲ 9	(5)		6	72	22	↓ ▲ 16	(▲ 7)
小売業	26	60	14	12	16	63	21	↓ ▲ 5	(▲ 17)		7	70	23	↓ ▲ 16	(▲ 11)
その他産業	23	46	31	▲ 8	23	54	23	↑ 0	(8)		12	67	21	↓ ▲ 9	(▲ 9)
販 売 価 格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下				上昇	横ばい	低下		
	44	52	4	40	42	53	5	↓ 37	(▲ 3)		39	58	3	↓ 36	(▲ 1)
製造業	37	56	7	30	32	59	9	↓ 23	(▲ 7)		39	54	7	↑ 32	(9)
建設業	52	46	2	50	33	67	0	↓ 33	(▲ 17)		39	61	0	↑ 39	(6)
卸売業	54	46	0	54	60	34	6	- 54	(0)		59	38	3	↑ 56	(2)
小売業	56	42	2	54	58	42	0	↑ 58	(4)		44	56	0	↓ 44	(▲ 14)
その他産業	40	56	4	36	42	52	6	- 36	(0)		29	69	2	↓ 27	(▲ 9)
仕 入 価 格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下				上昇	横ばい	低下		
	75	23	2	73	73	25	2	↓ 71	(▲ 2)		68	29	3	↓ 65	(▲ 6)
製造業	77	19	4	73	72	22	6	↓ 66	(▲ 7)		69	25	6	↓ 63	(▲ 3)
建設業	74	26	0	74	69	31	0	↓ 69	(▲ 5)		69	31	0	- 69	(0)
卸売業	72	28	0	72	74	26	0	↑ 74	(2)		64	36	0	↓ 64	(▲ 10)
小売業	76	24	0	76	74	26	0	↓ 74	(▲ 2)		62	36	2	↓ 60	(▲ 14)
その他産業	75	24	1	74	76	24	0	↑ 76	(2)		70	29	1	↓ 69	(▲ 7)
資 金 繰 り	楽	普通	窮屈		楽	普通	窮屈				楽	普通	窮屈		
	4	78	18	▲ 14	4	79	17	↑ ▲ 13	(1)		3	77	20	↓ ▲ 17	(▲ 4)
製造業	4	71	25	▲ 21	5	75	20	↑ ▲ 15	(6)		3	74	23	↓ ▲ 20	(▲ 5)
建設業	4	83	13	▲ 9	4	83	13	- ▲ 9	(0)		4	85	11	↑ ▲ 7	(2)
卸売業	3	90	7	▲ 4	3	78	19	↓ ▲ 16	(▲ 12)		3	78	19	- ▲ 16	(0)
小売業	0	93	7	▲ 7	0	86	14	↓ ▲ 14	(▲ 7)		0	88	12	↑ ▲ 12	(2)
その他産業	6	73	21	▲ 15	6	77	17	↑ ▲ 11	(4)		4	72	24	↓ ▲ 20	(▲ 9)
雇 用 人 員	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足				過剰	適正	不足		
	2	50	48	▲ 46	1	47	52	↓ ▲ 51	(▲ 5)		2	44	54	↓ ▲ 52	(▲ 1)
製造業	4	52	44	▲ 40	2	54	44	↓ ▲ 42	(▲ 2)		7	49	44	↑ ▲ 37	(5)
建設業	2	53	45	▲ 43	0	50	50	↓ ▲ 50	(▲ 7)		0	46	54	↓ ▲ 54	(▲ 4)
卸売業	3	55	42	▲ 39	3	53	44	↓ ▲ 41	(▲ 2)		3	56	41	↑ ▲ 38	(3)
小売業	0	48	52	▲ 52	0	49	51	↑ ▲ 51	(1)		0	43	57	↓ ▲ 57	(▲ 6)
その他産業	1	45	54	▲ 53	1	35	64	↓ ▲ 63	(▲ 10)		0	35	65	↓ ▲ 65	(▲ 2)

図表2 業況D.I. (中分類)

	2024年7～9月期	2024年10～12月期		2025年1～3月期	
	前 期	今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 16	▲ 5	11	▲ 13	▲ 8
製 造 業	▲ 30	▲ 20	10	▲ 23	▲ 3
食 料 品	▲ 18	▲ 19	▲ 1	▲ 20	▲ 1
織 維	0	0		0	0
木 材	▲ 75	▲ 50	25	▲ 50	0
紙・パルプ	▲ 67	▲ 33	34	0	33
窯業・土石	▲ 57	▲ 11	46	▲ 33	▲ 22
機械・金属	▲ 39	▲ 31	8	▲ 23	8
電機・電子	14	0	▲ 14	0	0
そ の 他	▲ 71	▲ 33	38	▲ 50	▲ 17
建 設 業	▲ 9	4	13	▲ 6	▲ 10
土 木	▲ 8	0	8	▲ 7	7
建 築	▲ 20	▲ 22	▲ 2	0	22
総 合 建 設	0	13	13	▲ 38	▲ 51
そ の 他	0	40	40	10	▲ 30
卸 売 業	▲ 35	▲ 15	20	▲ 16	▲ 1
食 料 品	▲ 18	29	47	0	▲ 29
建 設 資 材	▲ 50	▲ 29	21	▲ 29	0
家 電 卸 売	▲ 50	▲ 50	0	0	50
そ の 他	▲ 37	▲ 67	▲ 30	▲ 33	34
小 売 業	5	▲ 2	▲ 7	▲ 2	0
百貨店・スーパー	0	0	0	9	9
衣 料 品	0	0	0	0	0
自 動 車	▲ 20	▲ 9	11	▲ 18	▲ 9
家 電 製 品	100	50	▲ 50	0	▲ 50
石油・ガス	▲ 25	▲ 25	0	0	25
そ の 他	17	0	▲ 17	0	0
そ の 他 産 業	▲ 9	8	17	▲ 10	▲ 18
旅館・ホテル	▲ 51	30	81	▲ 7	▲ 37
運輸・通信	6	15	9	5	▲ 10
外 食	15	29	14	▲ 57	▲ 86
その他サービス	▲ 6	▲ 2	4	▲ 7	▲ 5

図表3 売上・完工高D.I. (中分類)

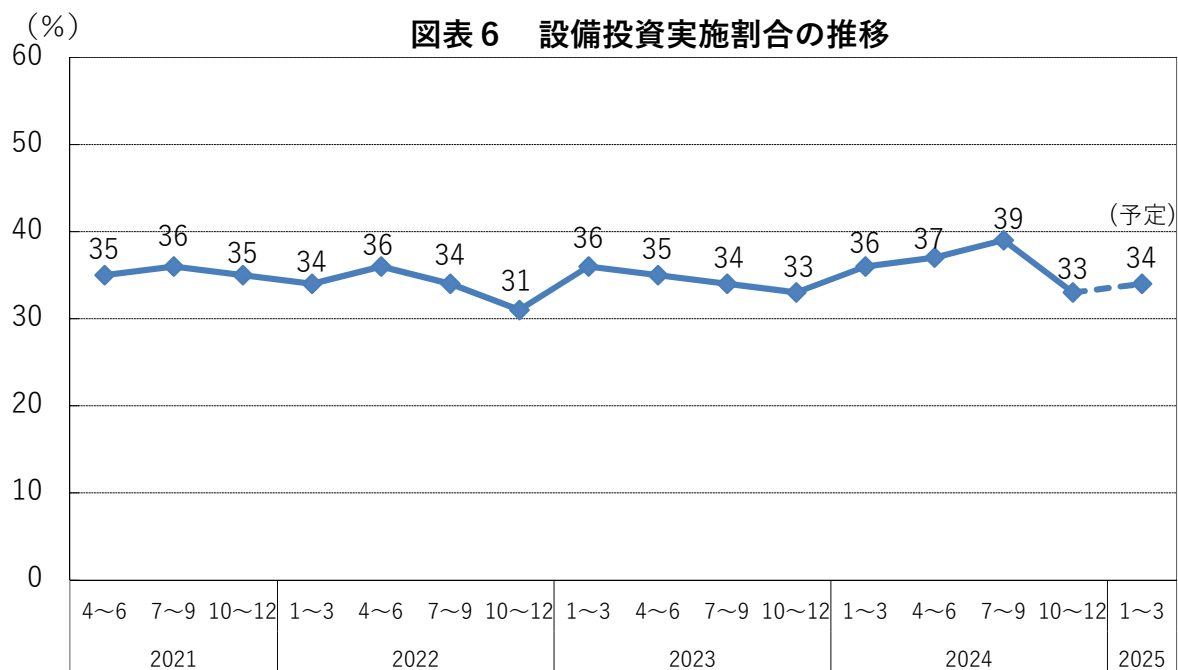
	2024年7～9月期	2024年10～12月期		2025年1～3月期	
	前 期	今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 4	3	7	▲ 5	▲ 8
製 造 業	▲ 28	▲ 19	9	▲ 12	7
食 料 品	▲ 18	▲ 12	6	▲ 7	5
織 維	0	0	0	0	0
木 材	▲ 75	▲ 25	50	0	25
紙・パルプ	▲ 34	▲ 33	1	33	66
窯業・土石	▲ 72	▲ 67	5	▲ 56	11
機械・金属	▲ 30	▲ 8	22	▲ 38	▲ 30
電機・電子	28	23	▲ 5	33	10
そ の 他	▲ 86	▲ 67	19	▲ 33	34
建 設 業	▲ 2	8	10	4	▲ 4
土 木	7	14	7	7	▲ 7
建 築	▲ 26	0	26	14	14
総 合 建 設	▲ 12	13	25	▲ 25	▲ 38
そ の 他	28	10	▲ 18	10	0
卸 売 業	▲ 11	▲ 3	8	0	3
食 料 品	27	43	16	15	▲ 28
建 設 資 材	▲ 50	▲ 43	7	▲ 15	28
家 電 卸 売	▲ 50	▲ 50	0	▲ 50	0
そ の 他	▲ 12	▲ 33	▲ 21	0	33
小 売 業	22	18	▲ 4	▲ 2	▲ 20
百貨店・スーパー	11	18	7	10	▲ 8
衣 料 品	0	0	0	0	0
自 動 車	20	46	26	▲ 9	▲ 55
家 電 製 品	100	50	▲ 50	0	▲ 50
石油・ガス	0	▲ 50	▲ 50	0	50
そ の 他	23	13	▲ 10	▲ 6	▲ 19
そ の 他 産 業	7	13	6	▲ 3	▲ 16
旅館・ホテル	▲ 16	24	40	8	▲ 16
運輸・通信	35	45	10	10	▲ 35
外 食	57	29	▲ 28	▲ 29	▲ 58
その他サービス	0	0	0	▲ 4	▲ 4

図表4 損益D.I. (中分類)

	2024年7～9月期		2024年10～12月期		2025年1～3月期	
	前 期		今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 12		▲ 9	3	▲ 13	▲ 4
製 造 業	▲ 29		▲ 23	6	▲ 20	3
食 料 品	▲ 22		▲ 32	▲ 10	▲ 18	14
織 維	0		0	0	0	0
木 材	▲ 75		▲ 75	0	▲ 50	25
紙・パルプ	▲ 67		▲ 34	33	33	67
窯業・土石	▲ 43		▲ 33	10	▲ 56	▲ 23
機械・金属	▲ 31		▲ 8	23	▲ 38	▲ 30
電機・電子	▲ 15		23	38	22	▲ 1
そ の 他	▲ 29		0	29	▲ 17	▲ 17
建 設 業	▲ 4		▲ 3	1	2	5
土 木	▲ 7		0	7	▲ 7	▲ 7
建 築	▲ 13		0	13	7	7
総合建設	▲ 13		▲ 29	▲ 16	▲ 14	15
そ の 他	18		10	▲ 8	20	10
卸 売 業	▲ 14		▲ 9	5	▲ 16	▲ 7
食 料 品	0		22	22	7	▲ 15
建設資材	▲ 25		▲ 29	▲ 4	▲ 29	0
家電卸売	▲ 50		0	50	0	0
そ の 他	▲ 12		▲ 45	▲ 33	▲ 44	1
小 売 業	12		▲ 5	▲ 17	▲ 16	▲ 11
百貨店・スーパー	11		0	▲ 11	▲ 9	▲ 9
衣 料 品	0		0	0	0	0
自 動 車	▲ 10		0	10	▲ 36	▲ 36
家電製品	50		0	▲ 50	0	0
石油・ガス	0		0	0	0	0
そ の 他	23		▲ 13	▲ 36	▲ 13	0
そ の 他 産 業	▲ 8		0	8	▲ 9	▲ 9
旅館・ホテル	▲ 25		23	48	8	▲ 15
運輸・通信	29		15	▲ 14	5	▲ 10
外 食	▲ 43		▲ 43	0	▲ 71	▲ 28
その他サービス	▲ 10		▲ 5	5	▲ 8	▲ 3

図表5 資金繰りD.I. (中分類)

	2024年7～9月期		2024年10～12月期		2025年1～3月期	
	前 期		今期 実績	差(今期－前期)	来期 見通し	差(来期－今期)
全 業 種	▲ 14		▲ 13	1	▲ 17	▲ 4
製 造 業	▲ 21		▲ 15	6	▲ 20	▲ 5
食 料 品	▲ 15		▲ 20	▲ 5	▲ 23	▲ 3
織 維	0		0	0	0	0
木 材	▲ 75		▲ 50	25	▲ 50	0
紙・パルプ	▲ 33		0	33	▲ 33	▲ 33
窯業・土石	▲ 29		0	29	0	0
機械・金属	▲ 15		▲ 7	8	▲ 7	0
電機・電子	▲ 20		14	34	▲ 14	▲ 28
そ の 他	▲ 29		▲ 33	▲ 4	▲ 33	0
建 設 業	▲ 9		▲ 9	0	▲ 7	2
土 木	▲ 15		0	15	0	0
建 築	0		▲ 7	▲ 7	▲ 7	0
総合建設	▲ 13		▲ 12	1	0	12
そ の 他	▲ 9		▲ 20	▲ 11	▲ 20	0
卸 売 業	▲ 4		▲ 16	▲ 12	▲ 16	0
食 料 品	0		▲ 7	▲ 7	▲ 7	0
建設資材	▲ 13		▲ 14	▲ 1	▲ 14	0
家電卸売	0		0	0	0	0
そ の 他	0		▲ 33	▲ 33	▲ 33	0
小 売 業	▲ 7		▲ 14	▲ 7	▲ 12	2
百貨店・スーパー	▲ 22		▲ 20	2	▲ 22	▲ 2
衣 料 品	0		0	0	0	0
自 動 車	▲ 10		▲ 27	▲ 17	▲ 27	0
家電製品	0		▲ 50	▲ 50	0	50
石油・ガス	0		0	0	0	0
そ の 他	0		0	0	0	0
そ の 他 産 業	▲ 15		▲ 11	4	▲ 20	▲ 9
旅館・ホテル	▲ 17		▲ 8	9	▲ 23	▲ 15
運輸・通信	▲ 6		0	6	▲ 15	▲ 15
外 食	▲ 57		▲ 43	14	▲ 71	▲ 28
その他サービス	▲ 8		▲ 9	▲ 1	▲ 14	▲ 5



図表7 設備投資

単位：％

			全 産 業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
2024 年 10 月 （今 期 実 績 ）	実 施 し た		33	38	22	19	37	36
	投 資 目 的	設備の維持・更新	84	80	100	83	81	86
		生産・販売能力増強	28	20	20	33	38	31
		省力化・合理化・省エネ	27	37	30	17	31	14
		新製品等の研究開発	6	14	0	0	0	3
		経営多角化	2	3	0	0	0	3
		その他	3	0	0	0	13	3
	実 施 し な か っ た		67	62	78	81	63	64
2025 年 1 月 ～ 3 月 （来 期 見 通 し ）	実 施 予 定		34	43	22	22	37	34
	投 資 目 的	設備の維持・更新	84	95	60	86	75	82
		生産・販売能力増強	33	30	60	43	38	24
		省力化・合理化・省エネ	26	30	50	0	25	21
		新製品等の研究開発	5	10	0	0	0	3
		経営多角化	1	3	0	0	0	0
		その他	3	3	0	0	6	3
	実 施 予 定 な し		66	57	78	78	63	66

（注）計数は構成割合、投資目的は複数回答。

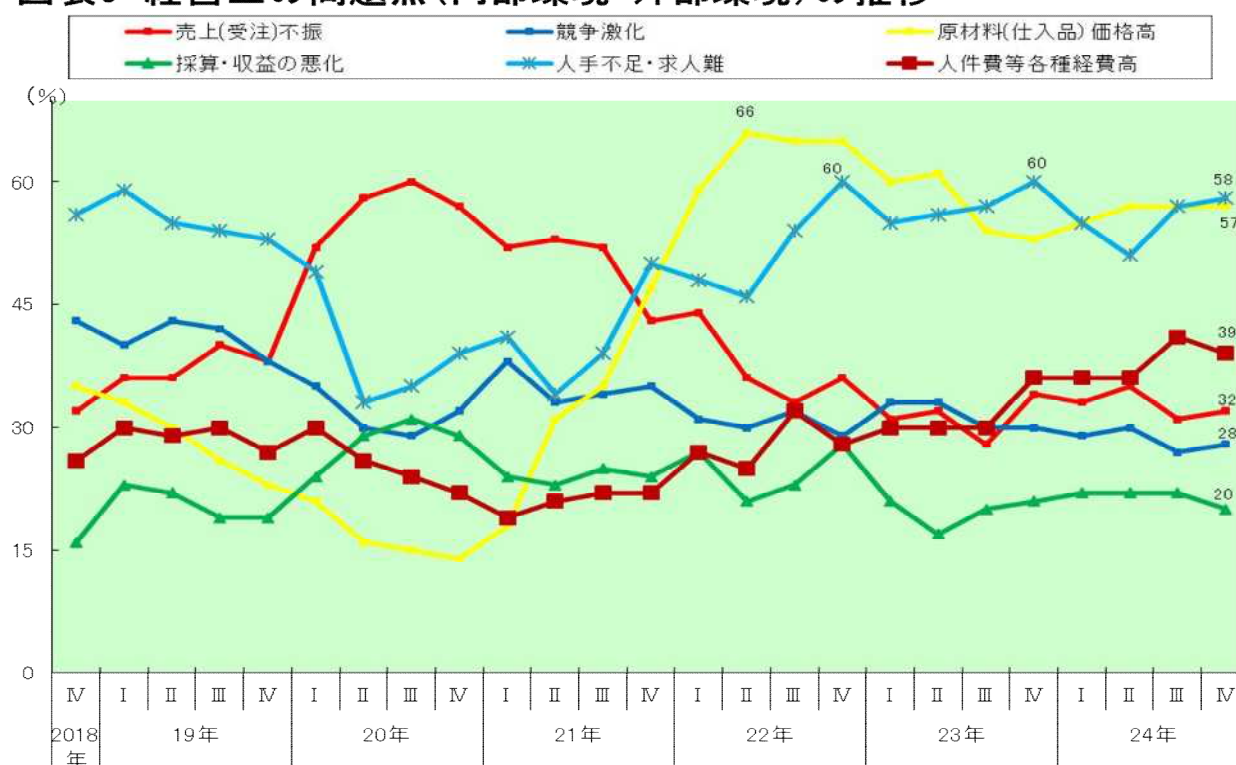
図表8 経営上の問題点（内部環境・外部環境）

単位：％

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
人手不足・求人難	58	50	70	47	57	65
原材料（仕入品）価格高	57	69	65	33	48	53
人件費等各種経費高	39	21	30	33	60	55
売上（受注）不振	32	46	26	33	21	25
競争激化	28	13	46	37	41	26
採算・収益の悪化	20	24	15	23	21	18
販売価格転嫁難（仕入価格上昇分）	16	15	11	30	10	19
省力化・合理化の遅れ（含む情報化）	15	21	9	7	14	14
生産（販売）能力不足	10	7	11	7	14	12
技術力不足	8	10	13	0	5	8
原材料手当難	7	19	4	0	5	0
廃棄物処理（含むコスト増）	6	9	4	0	5	6
製（商）品価格低下	4	8	2	3	0	4
金融機関からの借入難	4	5	4	7	0	3
決済条件悪化	2	2	2	0	2	2
事業承継難	2	1	4	3	0	2
雇用人員の過剰	1	2	2	0	0	0
売掛金回収難	0	0	0	3	0	0
その他	2	2	4	3	0	1

（注）複数回答

図表9 経営上の問題点（内部環境・外部環境）の推移



【鹿児島県の景気の現状などについて】

図表10 本県の景気の現状

(単位: %)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
拡大している	1	0	0	0	0	2
緩やかに拡大している	12	11	13	16	12	12
横ばい	71	69	74	53	69	79
緩やかに後退している	16	20	13	31	19	6
後退している	0	0	0	0	0	1
D.I.(今回:2024年12月) (A)	▲ 3	▲ 9	0	▲ 15	▲ 7	7
D.I.(前回:2023年12月) (B)	16	12	0	15	17	26
増減 (A)－(B)	▲ 19	▲ 21	0	▲ 30	▲ 24	▲ 19

図表11 景気の拡大要因・後退要因（複数回答）

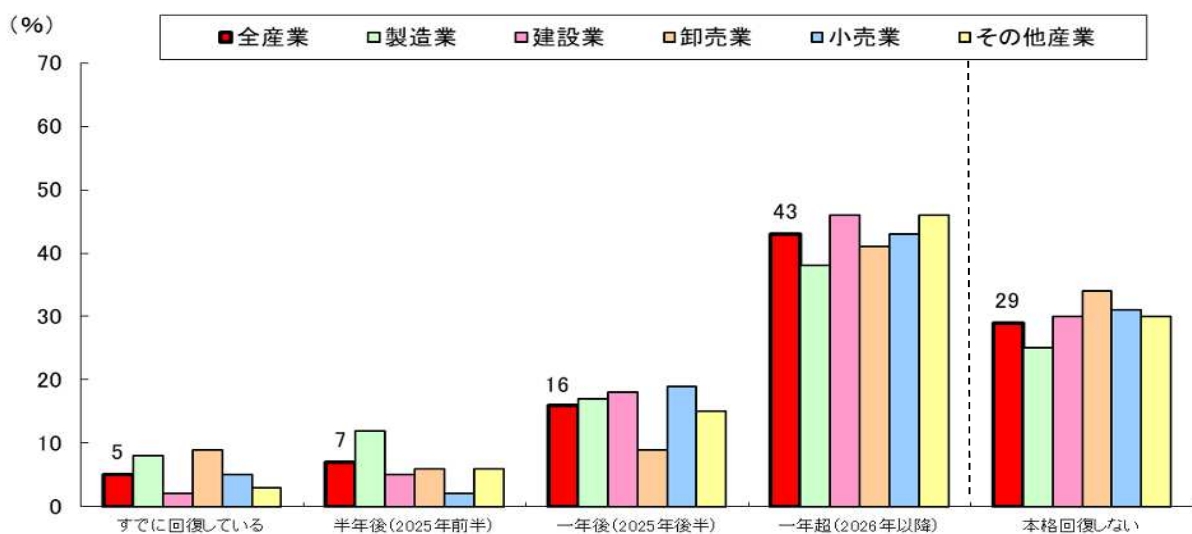
(単位: %)

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
大 要 因 注1	個人消費の回復	62	80	67	20	40	69
	外国人観光客の増加	59	40	50	60	100	62
	雇用・所得環境の改善	36	40	50	0	0	54
	日本人観光客の増加	33	40	33	40	20	31
	公共工事の増加	15	20	33	0	20	8
	設備投資の活発化	13	0	0	40	40	8
	為替・株価動向	13	10	17	20	40	0
	補正予算などの政策効果	8	0	17	20	0	8
	住宅投資の活発化	5	0	17	20	0	0
	欧米など先進国の経済回復	3	0	0	0	0	8
	中国など新興国の経済回復	3	0	0	0	0	8
	その他	0	0	0	0	0	0
後 退 要 因 注2	燃料・原材料の価格高騰	77	79	50	100	75	71
	個人消費の低迷	71	63	67	75	88	71
	人手不足	48	42	67	38	50	57
	光熱・水道費の高止まり	44	53	50	25	50	29
	雇用・所得環境の悪化	35	37	50	38	38	14
	公共工事の減少	17	5	33	50	0	14
	政策効果の息切れ	17	21	33	0	0	29
	国際情勢の悪化	17	32	17	13	0	0
	住宅投資の減速	15	21	33	0	0	14
	為替・株価動向	13	26	0	0	13	0
	中国など新興国経済の減速	8	11	17	13	0	0
	日本人観光客の減少	6	5	0	13	0	14
	設備投資の落ち込み	4	11	0	0	0	0
	欧米など先進国経済の減速	4	5	17	0	0	0
	外国人観光客の減少	2	0	0	0	0	14
	日本の対外関係の悪化	2	0	17	0	0	0
	その他	4	5	17	0	0	0

注1)「拡大している」「緩やかに拡大している」と答えた企業のみ回答。

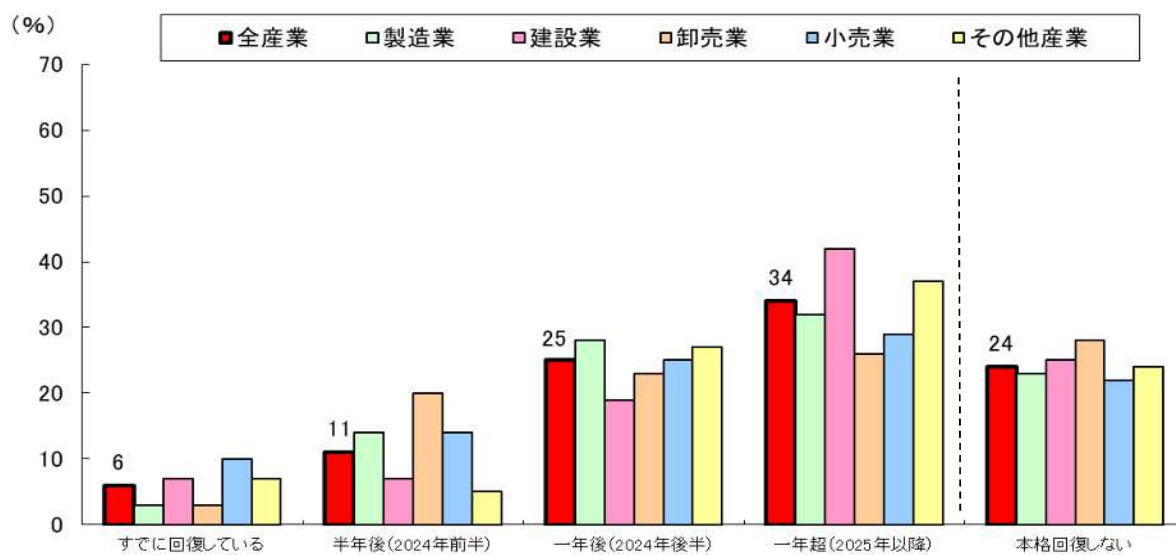
注2)「緩やかに後退している」「後退している」と答えた企業のみ回答。

図表12 景気が本格回復する時期

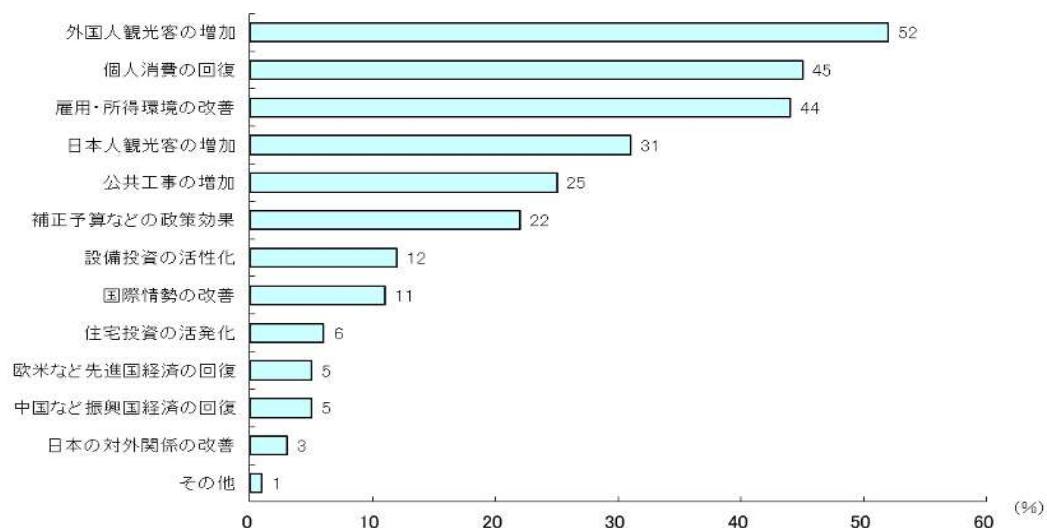


注)四捨五入の関係で合計が100にならない場合がある。以下同じ。

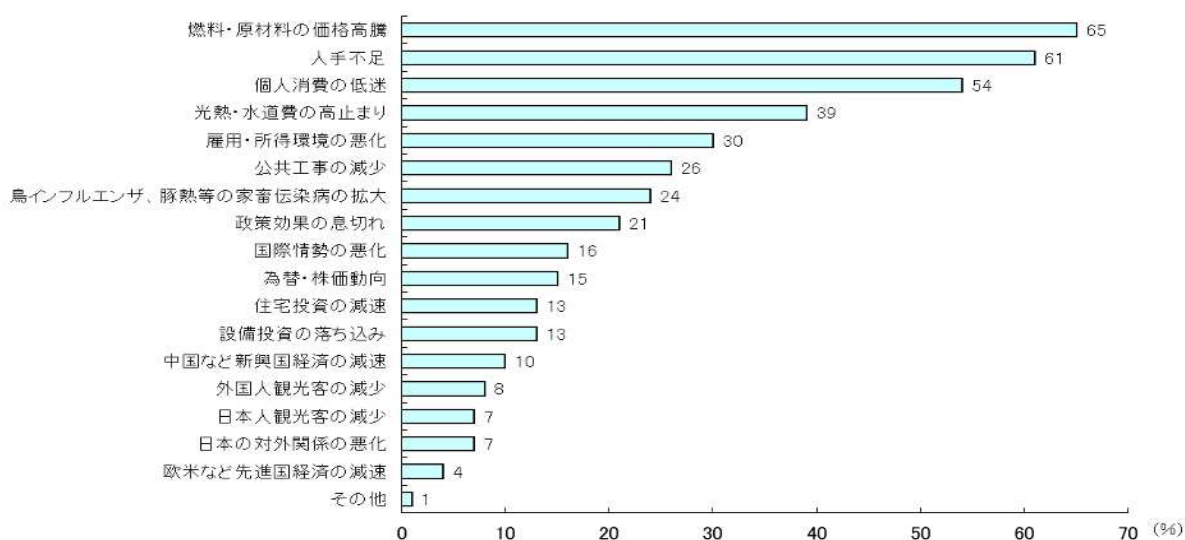
(参考) 前回(第174回:2023年10~12月期) 調査時回答



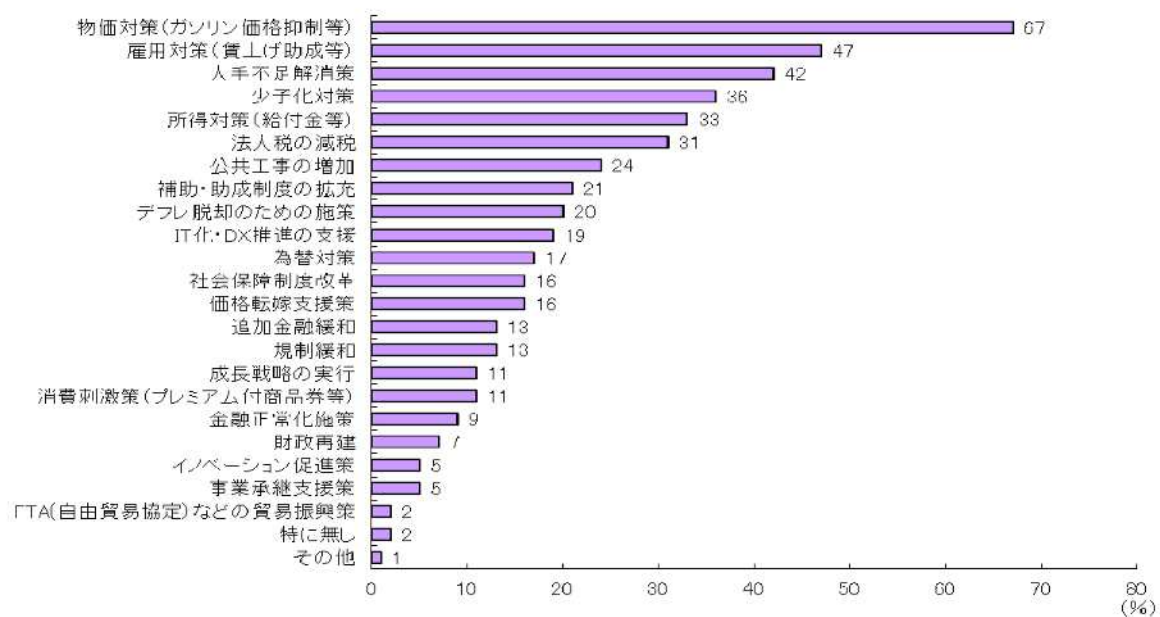
図表13 今後の本県の景気における期待材料（複数回答）



図表14 今後の本県の景気における懸念材料（複数回答）



図表15 政府に対して期待する経済対策（複数回答）



図表16 自社のCO₂排出量削減目標の策定状況

(%)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
策定している	14	13	17	6	23	13
策定を検討している	25	22	39	19	23	23
策定（検討）はしていない	61	66	44	75	54	65

注)四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。以下同じ。

図表17 取引先からのCO₂排出量削減要請

(%)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
ある	5	7	4	0	7	3
今後要請される可能性がある	23	22	41	22	19	19
ない	72	72	54	78	74	78

図表18 カーボンのクレジット活用の検討

(%)

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
既に活用している	5	2	11	6	5	3
活用を検討している	12	11	30	6	15	6
カーボンのクレジットについて知っているが、活用の予定（必要）はない	61	66	35	56	66	67
カーボンのクレジットという制度を初めて聞いた	23	22	24	31	15	24

(参考)

回答率

	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	144	94	65.3
食 料 品	76	48	63.2
織 維	2	2	100.0
木 材	8	4	50.0
紙・パルプ	3	3	100.0
窯業・土石	12	9	75.0
機械・金属	20	13	65.0
電機・電子	14	9	64.3
そ の 他	9	6	66.7
非製造業 計	341	218	63.9
建設業	69	46	66.7
土 木	18	14	77.8
建 築	21	14	66.7
総合建設	14	8	57.1
そ の 他	16	10	62.5
卸売業	50	32	64.0
食 料 品	22	14	63.6
建設資材	11	7	63.6
家電卸売	2	2	100.0
そ の 他	15	9	60.0
小売業	71	43	60.6
百貨店・スーパー	15	11	73.3
衣 料 品	2	0	0.0
自 動 車	15	11	73.3
家電製品	2	2	100.0
石油・ガス	8	4	50.0
そ の 他	29	15	51.7
その他産業	151	97	64.2
旅館・ホテル	21	13	61.9
運 輸	30	20	66.7
外 食	12	7	58.3
サービス	77	52	67.5
農林水産	11	5	45.5
合計（製造+非製造）	485	312	64.3

業況D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2012年	1～3 月期	▲ 19	▲ 23	▲ 25	▲ 14	▲ 32	▲ 9
	4～6 //	▲ 25	▲ 22	▲ 45	▲ 20	▲ 42	▲ 13
	7～9 //	▲ 28	▲ 32	▲ 26	▲ 28	▲ 31	▲ 26
	10～12 //	▲ 23	▲ 23	▲ 20	▲ 13	▲ 40	▲ 20
2013年	1～3 //	▲ 21	▲ 34	▲ 4	▲ 29	▲ 21	▲ 15
	4～6 //	▲ 16	▲ 27	▲ 6	▲ 17	▲ 31	▲ 3
	7～9 //	▲ 10	▲ 20	▲ 4	▲ 7	▲ 15	▲ 7
	10～12 //	▲ 4	▲ 14	21	0	▲ 9	▲ 4
2014年	1～3 //	7	▲ 4	32	7	10	1
	4～6 //	▲ 15	▲ 17	▲ 14	▲ 25	▲ 37	▲ 1
	7～9 //	▲ 14	▲ 20	1	▲ 17	▲ 31	▲ 9
	10～12 //	▲ 10	▲ 9	11	▲ 30	▲ 35	▲ 2
2015年	1～3 //	▲ 13	▲ 16	3	▲ 24	▲ 23	▲ 11
	4～6 //	▲ 20	▲ 29	▲ 17	▲ 25	▲ 37	▲ 7
	7～9 //	▲ 17	▲ 25	▲ 17	▲ 5	▲ 24	▲ 12
	10～12 //	▲ 10	▲ 16	2	▲ 15	▲ 24	▲ 1
2016年	1～3 //	▲ 7	▲ 17	6	▲ 24	▲ 16	5
	4～6 //	▲ 18	▲ 25	▲ 4	▲ 5	▲ 17	▲ 28
	7～9 //	▲ 11	▲ 19	6	▲ 9	▲ 31	▲ 5
	10～12 //	▲ 10	▲ 6	▲ 4	▲ 12	▲ 13	▲ 11
2017年	1～3 //	▲ 10	▲ 25	15	▲ 7	▲ 17	▲ 5
	4～6 //	▲ 4	▲ 16	10	▲ 5	▲ 6	1
	7～9 //	▲ 2	▲ 7	8	▲ 16	5	▲ 1
	10～12 //	1	▲ 6	6	▲ 10	12	3
2018年	1～3 //	▲ 3	▲ 8	0	▲ 2	▲ 1	▲ 4
	4～6 //	▲ 7	▲ 14	2	▲ 20	▲ 9	0
	7～9 //	▲ 8	▲ 18	10	▲ 6	▲ 9	▲ 9
	10～12 //	▲ 13	▲ 21	5	▲ 23	▲ 31	▲ 2
2019年	1～3 //	▲ 16	▲ 32	0	▲ 25	▲ 17	▲ 7
	4～6 //	▲ 17	▲ 29	▲ 8	▲ 23	▲ 21	▲ 7
	7～9 //	▲ 22	▲ 28	▲ 4	▲ 33	▲ 17	▲ 22
	10～12 //	▲ 21	▲ 22	▲ 10	▲ 38	▲ 42	▲ 12
2020年	1～3 //	▲ 42	▲ 51	▲ 11	▲ 46	▲ 38	▲ 49
	4～6 //	▲ 52	▲ 59	▲ 20	▲ 50	▲ 45	▲ 69
	7～9 //	▲ 50	▲ 68	▲ 10	▲ 55	▲ 28	▲ 61
	10～12 //	▲ 39	▲ 50	▲ 9	▲ 47	▲ 25	▲ 47
2021年	1～3 //	▲ 36	▲ 51	▲ 3	▲ 23	▲ 16	▲ 54
	4～6 //	▲ 34	▲ 35	2	▲ 30	▲ 43	▲ 44
	7～9 //	▲ 39	▲ 37	▲ 16	▲ 25	▲ 55	▲ 47
	10～12 //	▲ 19	▲ 7	▲ 13	▲ 25	▲ 34	▲ 21
2022年	1～3 //	▲ 27	▲ 26	4	▲ 29	▲ 46	▲ 33
	4～6 //	▲ 22	▲ 27	2	▲ 10	▲ 33	▲ 24
	7～9 //	▲ 21	▲ 23	▲ 7	▲ 26	▲ 25	▲ 24
	10～12 //	▲ 15	▲ 25	0	▲ 16	▲ 23	▲ 9
2023年	1～3 //	▲ 6	▲ 21	▲ 2	3	▲ 11	6
	4～6 //	▲ 12	▲ 27	▲ 14	0	▲ 2	▲ 7
	7～9 //	▲ 12	▲ 21	▲ 25	0	▲ 6	▲ 3
	10～12 //	▲ 14	▲ 18	▲ 27	▲ 14	▲ 21	▲ 4
2024年	1～3 //	▲ 10	▲ 23	▲ 7	▲ 6	▲ 9	▲ 2
	4～6 //	▲ 14	▲ 30	▲ 9	▲ 19	▲ 12	1
	7～9 //	▲ 16	▲ 30	▲ 9	▲ 35	5	▲ 9
	10～12 //	▲ 5	▲ 20	4	▲ 15	▲ 2	8
2025年	1～3 月期見通し	▲ 13	▲ 23	▲ 6	▲ 16	▲ 2	▲ 10

(注)D.I.=「良い」－「悪い」

売上・完工高D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2012年 1～3 月期		▲ 26	▲ 26	▲ 31	▲ 23	▲ 22	▲ 25
4～6 //		▲ 21	▲ 9	▲ 31	▲ 49	▲ 25	▲ 15
7～9 //		▲ 23	▲ 27	▲ 29	▲ 23	▲ 46	▲ 7
10～12 //		▲ 10	▲ 10	▲ 30	▲ 10	▲ 14	3
2013年 1～3 //		▲ 8	▲ 18	▲ 17	13	▲ 17	4
4～6 //		▲ 16	▲ 12	▲ 25	▲ 3	▲ 34	▲ 9
7～9 //		▲ 15	▲ 14	▲ 26	0	▲ 15	▲ 19
10～12 //		▲ 14	▲ 16	▲ 5	0	▲ 27	▲ 16
2014年 1～3 //		▲ 16	▲ 25	6	▲ 30	▲ 12	▲ 14
4～6 //		▲ 4	▲ 12	▲ 2	0	▲ 11	3
7～9 //		2	▲ 14	23	3	▲ 7	7
10～12 //		11	▲ 6	34	18	16	10
2015年 1～3 //		23	6	50	22	45	15
4～6 //		▲ 5	▲ 15	6	▲ 12	▲ 20	8
7～9 //		▲ 9	▲ 16	0	▲ 20	▲ 13	▲ 3
10～12 //		▲ 12	▲ 17	▲ 2	▲ 34	▲ 27	0
2016年 1～3 //		▲ 20	▲ 31	19	▲ 37	▲ 31	▲ 20
4～6 //		▲ 24	▲ 35	▲ 16	▲ 34	▲ 16	▲ 14
7～9 //		▲ 15	▲ 27	▲ 25	2	▲ 10	▲ 7
10～12 //		▲ 8	▲ 20	▲ 11	4	▲ 10	3
2017年 1～3 //		▲ 10	▲ 27	▲ 5	▲ 21	▲ 17	5
4～6 //		▲ 24	▲ 25	10	▲ 26	▲ 33	▲ 25
7～9 //		▲ 12	▲ 19	5	▲ 26	▲ 37	5
10～12 //		▲ 7	▲ 11	▲ 1	2	▲ 3	▲ 10
2018年 1～3 //		▲ 2	▲ 22	20	▲ 5	9	▲ 1
4～6 //		6	▲ 7	5	0	11	19
7～9 //		2	▲ 9	12	▲ 20	25	6
10～12 //		4	3	2	▲ 2	11	4
2019年 1～3 //		8	0	9	8	24	7
4～6 //		▲ 2	▲ 5	▲ 11	▲ 12	11	5
7～9 //		▲ 2	▲ 15	2	11	3	5
10～12 //		▲ 8	▲ 22	▲ 9	▲ 8	▲ 8	8
2020年 1～3 //		▲ 16	▲ 30	▲ 1	▲ 28	▲ 6	▲ 8
4～6 //		▲ 14	▲ 26	▲ 14	▲ 9	▲ 10	▲ 5
7～9 //		▲ 16	▲ 26	0	▲ 30	▲ 10	▲ 14
10～12 //		▲ 25	▲ 32	▲ 23	▲ 22	▲ 38	▲ 13
2020年 1～3 //		▲ 44	▲ 43	▲ 29	▲ 50	▲ 44	▲ 49
4～6 //		▲ 50	▲ 52	▲ 25	▲ 37	▲ 46	▲ 69
7～9 //		▲ 52	▲ 65	▲ 14	▲ 49	▲ 33	▲ 69
10～12 //		▲ 37	▲ 52	▲ 14	▲ 40	▲ 11	▲ 45
2021年 1～3 //		▲ 24	▲ 37	4	▲ 14	2	▲ 43
4～6 //		▲ 2	▲ 15	4	0	10	▲ 1
7～9 //		▲ 15	▲ 5	▲ 4	▲ 17	▲ 27	▲ 20
10～12 //		▲ 7	6	▲ 10	▲ 9	▲ 20	▲ 9
2022年 1～3 //		▲ 9	7	▲ 15	0	▲ 49	▲ 5
4～6 //		8	4	14	17	▲ 11	13
7～9 //		7	3	0	17	5	12
10～12 //		6	▲ 3	5	9	5	16
2023年 1～3 //		11	2	0	21	15	16
4～6 //		14	12	▲ 9	17	19	23
7～9 //		4	1	▲ 35	12	13	18
10～12 //		0	▲ 8	▲ 42	20	10	16
2024年 1～3 //		0	▲ 7	▲ 20	3	6	11
4～6 //		▲ 9	▲ 22	▲ 9	▲ 7	▲ 12	4
7～9 //		▲ 4	▲ 28	▲ 2	▲ 11	22	7
10～12 //		3	▲ 19	8	▲ 3	18	13
2025年 1～3 月期見通し		▲ 5	▲ 12	4	0	▲ 2	▲ 3

(注) D.I. = 「増加」 - 「減少」

損益D.I.の推移

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
2012年	1～3 月期	▲ 24	▲ 19	▲ 29	▲ 26	▲ 17	▲ 29
	4～6 //	▲ 15	▲ 8	▲ 31	▲ 34	▲ 12	▲ 10
	7～9 //	▲ 24	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 40	▲ 11
	10～12 //	▲ 10	▲ 17	▲ 19	▲ 8	▲ 17	6
2013年	1～3 //	▲ 14	▲ 24	▲ 20	0	▲ 19	2
	4～6 //	▲ 16	▲ 15	▲ 33	▲ 7	▲ 12	▲ 16
	7～9 //	▲ 17	▲ 16	▲ 21	▲ 16	▲ 10	▲ 21
	10～12 //	▲ 15	▲ 20	▲ 9	▲ 8	▲ 19	▲ 15
2014年	1～3 //	▲ 16	▲ 27	▲ 4	▲ 35	▲ 12	▲ 7
	4～6 //	▲ 9	▲ 18	▲ 10	▲ 9	▲ 14	3
	7～9 //	▲ 5	▲ 9	4	5	▲ 17	▲ 6
	10～12 //	1	▲ 6	16	3	0	1
2015年	1～3 //	12	1	43	19	5	7
	4～6 //	▲ 5	▲ 1	8	▲ 15	▲ 31	1
	7～9 //	▲ 11	▲ 11	5	▲ 32	▲ 17	▲ 11
	10～12 //	▲ 11	▲ 10	▲ 6	▲ 28	▲ 25	0
2016年	1～3 //	▲ 14	▲ 27	13	▲ 23	▲ 16	▲ 14
	4～6 //	▲ 19	▲ 34	▲ 15	▲ 13	▲ 18	▲ 7
	7～9 //	▲ 13	▲ 25	▲ 24	3	▲ 6	▲ 3
	10～12 //	▲ 4	▲ 11	▲ 2	▲ 11	▲ 5	5
2017年	1～3 //	▲ 4	▲ 19	10	▲ 19	▲ 5	5
	4～6 //	▲ 14	▲ 21	7	▲ 13	▲ 19	▲ 19
	7～9 //	▲ 8	▲ 16	2	▲ 7	▲ 16	▲ 3
	10～12 //	▲ 8	▲ 7	▲ 7	▲ 4	1	▲ 18
2018年	1～3 //	▲ 4	▲ 9	17	▲ 4	▲ 15	▲ 8
	4～6 //	2	▲ 5	12	▲ 3	▲ 11	12
	7～9 //	▲ 1	▲ 4	7	▲ 9	5	▲ 2
	10～12 //	▲ 5	▲ 15	▲ 6	▲ 4	9	1
2019年	1～3 //	▲ 3	▲ 1	0	▲ 3	10	▲ 12
	4～6 //	▲ 10	▲ 22	2	▲ 15	1	▲ 10
	7～9 //	▲ 12	▲ 20	▲ 12	0	▲ 1	▲ 15
	10～12 //	▲ 16	▲ 17	▲ 8	▲ 29	▲ 25	▲ 8
2020年	1～3 //	▲ 19	▲ 35	▲ 7	▲ 28	▲ 4	▲ 13
	4～6 //	▲ 15	▲ 28	▲ 10	▲ 11	▲ 6	▲ 7
	7～9 //	▲ 17	▲ 25	▲ 8	▲ 17	▲ 19	▲ 13
	10～12 //	▲ 22	▲ 22	▲ 21	▲ 32	▲ 41	▲ 8
2020年	1～3 //	▲ 34	▲ 33	▲ 27	▲ 32	▲ 34	▲ 39
	4～6 //	▲ 45	▲ 47	▲ 20	▲ 38	▲ 35	▲ 67
	7～9 //	▲ 41	▲ 47	▲ 22	▲ 43	▲ 20	▲ 59
	10～12 //	▲ 27	▲ 34	▲ 15	▲ 35	▲ 9	▲ 33
2021年	1～3 //	▲ 23	▲ 33	4	▲ 11	▲ 14	▲ 36
	4～6 //	▲ 2	▲ 7	5	0	▲ 4	0
	7～9 //	▲ 18	▲ 2	▲ 9	▲ 12	▲ 43	▲ 28
	10～12 //	▲ 10	5	▲ 9	▲ 15	▲ 30	▲ 12
2022年	1～3 //	▲ 18	▲ 6	▲ 8	▲ 23	▲ 42	▲ 19
	4～6 //	▲ 4	▲ 8	5	▲ 13	▲ 23	11
	7～9 //	▲ 15	▲ 24	▲ 9	▲ 12	▲ 17	▲ 9
	10～12 //	▲ 9	▲ 23	▲ 4	▲ 20	▲ 13	4
2023年	1～3 //	1	▲ 10	▲ 9	15	13	5
	4～6 //	0	▲ 9	▲ 14	9	9	10
	7～9 //	▲ 8	▲ 15	▲ 29	6	▲ 11	8
	10～12 //	▲ 10	▲ 6	▲ 37	2	▲ 13	▲ 2
2024年	1～3 //	▲ 5	▲ 7	▲ 18	▲ 7	13	▲ 9
	4～6 //	▲ 5	▲ 10	▲ 2	▲ 4	▲ 10	0
	7～9 //	▲ 12	▲ 29	▲ 4	▲ 14	12	▲ 8
	10～12 //	▲ 9	▲ 23	▲ 3	▲ 9	5	0
2025年	1～3 月期見通し	▲ 13	▲ 20	2	▲ 16	▲ 16	▲ 9

(注) D.I. = 「好転」 - 「悪化」

資金繰りD.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2012年 1～3 月期		▲ 13	▲ 2	▲ 23	▲ 5	▲ 20	▲ 19
4～6 //		▲ 7	▲ 2	▲ 9	▲ 6	▲ 20	▲ 9
7～9 //		▲ 9	▲ 4	▲ 8	▲ 10	▲ 23	▲ 6
10～12 //		▲ 10	▲ 10	▲ 16	▲ 7	▲ 20	▲ 2
2013年 1～3 //		▲ 10	▲ 8	▲ 9	▲ 3	▲ 22	▲ 7
4～6 //		▲ 12	▲ 8	▲ 14	▲ 8	▲ 25	▲ 7
7～9 //		▲ 9	▲ 10	▲ 6	0	▲ 18	▲ 7
10～12 //		▲ 10	▲ 9	▲ 13	2	▲ 24	▲ 8
2014年 1～3 //		▲ 13	▲ 12	▲ 15	▲ 15	▲ 16	▲ 10
4～6 //		▲ 6	▲ 7	3	5	▲ 20	▲ 6
7～9 //		▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 2	▲ 13	▲ 11
10～12 //		▲ 6	▲ 8	▲ 3	▲ 2	▲ 13	1
2015年 1～3 //		1	3	5	0	▲ 5	▲ 2
4～6 //		▲ 2	▲ 2	▲ 1	▲ 4	▲ 9	2
7～9 //		▲ 5	▲ 6	7	▲ 4	▲ 18	▲ 4
10～12 //		▲ 7	▲ 10	▲ 2	▲ 5	▲ 13	▲ 3
2016年 1～3 //		▲ 5	▲ 6	2	▲ 2	▲ 9	▲ 7
4～6 //		▲ 5	▲ 10	0	▲ 3	▲ 11	▲ 2
7～9 //		▲ 5	▲ 13	3	2	▲ 11	0
10～12 //		▲ 7	▲ 15	▲ 4	3	▲ 10	▲ 7
2017年 1～3 //		▲ 3	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 11	1
4～6 //		▲ 5	▲ 7	8	5	▲ 12	▲ 12
7～9 //		0	0	7	3	▲ 4	▲ 2
10～12 //		▲ 2	▲ 5	4	2	▲ 8	▲ 1
2018年 1～3 //		▲ 1	2	4	0	▲ 3	▲ 3
4～6 //		1	▲ 1	20	5	▲ 6	▲ 3
7～9 //		0	▲ 2	10	▲ 4	▲ 2	▲ 1
10～12 //		1	3	0	▲ 7	▲ 4	4
2019年 1～3 //		2	1	7	0	0	0
4～6 //		0	3	11	▲ 7	▲ 1	▲ 6
7～9 //		▲ 2	▲ 5	5	3	▲ 2	▲ 3
10～12 //		▲ 3	▲ 9	11	0	▲ 2	▲ 6
2020年 1～3 //		▲ 4	▲ 6	2	▲ 2	1	▲ 8
4～6 //		▲ 4	▲ 4	▲ 2	▲ 2	▲ 12	▲ 1
7～9 //		▲ 5	▲ 10	0	▲ 5	▲ 11	2
10～12 //		▲ 3	▲ 2	▲ 6	▲ 8	▲ 15	6
2020年 1～3 //		▲ 18	▲ 17	▲ 10	▲ 5	▲ 24	▲ 23
4～6 //		▲ 21	▲ 26	6	▲ 15	▲ 21	▲ 34
7～9 //		▲ 17	▲ 20	▲ 2	▲ 16	▲ 7	▲ 28
10～12 //		▲ 13	▲ 14	0	▲ 16	▲ 3	▲ 25
2021年 1～3 //		▲ 16	▲ 14	▲ 5	▲ 9	▲ 11	▲ 28
4～6 //		▲ 11	▲ 9	7	▲ 3	▲ 12	▲ 22
7～9 //		▲ 14	▲ 11	3	▲ 3	▲ 18	▲ 28
10～12 //		▲ 12	▲ 11	▲ 7	▲ 16	▲ 10	▲ 18
2022年 1～3 //		▲ 11	▲ 7	▲ 5	▲ 15	▲ 16	▲ 19
4～6 //		▲ 8	▲ 16	2	▲ 4	▲ 7	▲ 11
7～9 //		▲ 16	▲ 17	▲ 12	▲ 22	▲ 11	▲ 21
10～12 //		▲ 14	▲ 18	0	▲ 7	▲ 17	▲ 18
2023年 1～3 //		▲ 11	▲ 18	▲ 9	▲ 12	▲ 7	▲ 6
4～6 //		▲ 10	▲ 15	▲ 9	▲ 3	▲ 12	▲ 8
7～9 //		▲ 14	▲ 17	▲ 9	▲ 6	▲ 17	▲ 14
10～12 //		▲ 13	▲ 13	0	▲ 17	▲ 22	▲ 10
2024年 1～3 //		▲ 9	▲ 17	▲ 5	▲ 4	▲ 12	▲ 5
4～6 //		▲ 10	▲ 17	5	▲ 13	▲ 18	▲ 7
7～9 //		▲ 14	▲ 21	▲ 9	▲ 4	▲ 7	▲ 15
10～12 //		▲ 13	▲ 15	▲ 9	▲ 16	▲ 14	▲ 11
2025年 1～3 月期見通し		▲ 17	▲ 20	▲ 7	▲ 16	▲ 12	▲ 20

(注) D.I. = 「楽」 - 「窮屈」

雇用人員D.I.の推移

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2012年	1～3 月期	▲ 6	2	▲ 9	6	▲ 18	▲ 9
	4～6 //	1	6	11	11	▲ 2	▲ 12
	7～9 //	▲ 6	1	▲ 9	12	▲ 13	▲ 13
	10～12 //	▲ 8	2	▲ 17	2	▲ 10	▲ 18
2013年	1～3 //	▲ 9	▲ 3	▲ 10	7	▲ 8	▲ 20
	4～6 //	▲ 9	0	▲ 12	▲ 4	▲ 13	▲ 16
	7～9 //	▲ 16	▲ 8	▲ 33	▲ 3	▲ 8	▲ 21
	10～12 //	▲ 18	▲ 5	▲ 43	▲ 10	▲ 3	▲ 28
2014年	1～3 //	▲ 25	▲ 13	▲ 36	▲ 13	▲ 23	▲ 36
	4～6 //	▲ 19	▲ 10	▲ 29	0	▲ 29	▲ 25
	7～9 //	▲ 20	▲ 6	▲ 41	▲ 5	▲ 28	▲ 28
	10～12 //	▲ 27	▲ 13	▲ 46	▲ 5	▲ 22	▲ 39
2015年	1～3 //	▲ 26	▲ 17	▲ 37	▲ 12	▲ 26	▲ 37
	4～6 //	▲ 22	▲ 16	▲ 30	▲ 10	▲ 31	▲ 23
	7～9 //	▲ 23	▲ 14	▲ 35	▲ 3	▲ 25	▲ 30
	10～12 //	▲ 27	▲ 15	▲ 43	▲ 12	▲ 28	▲ 38
2016年	1～3 //	▲ 25	▲ 10	▲ 44	▲ 10	▲ 23	▲ 37
	4～6 //	▲ 18	▲ 1	▲ 23	▲ 7	▲ 34	▲ 27
	7～9 //	▲ 29	▲ 24	▲ 42	▲ 9	▲ 30	▲ 36
	10～12 //	▲ 36	▲ 33	▲ 47	▲ 10	▲ 32	▲ 41
2017年	1～3 //	▲ 39	▲ 28	▲ 53	▲ 22	▲ 35	▲ 49
	4～6 //	▲ 36	▲ 31	▲ 47	▲ 8	▲ 36	▲ 46
	7～9 //	▲ 39	▲ 34	▲ 56	▲ 14	▲ 41	▲ 45
	10～12 //	▲ 44	▲ 42	▲ 64	▲ 15	▲ 48	▲ 46
2018年	1～3 //	▲ 45	▲ 42	▲ 51	▲ 23	▲ 59	▲ 49
	4～6 //	▲ 42	▲ 40	▲ 49	▲ 35	▲ 47	▲ 39
	7～9 //	▲ 42	▲ 38	▲ 56	▲ 34	▲ 51	▲ 37
	10～12 //	▲ 45	▲ 34	▲ 60	▲ 37	▲ 53	▲ 48
2019年	1～3 //	▲ 42	▲ 26	▲ 53	▲ 38	▲ 56	▲ 48
	4～6 //	▲ 37	▲ 23	▲ 42	▲ 33	▲ 51	▲ 42
	7～9 //	▲ 43	▲ 35	▲ 56	▲ 28	▲ 55	▲ 47
	10～12 //	▲ 45	▲ 37	▲ 47	▲ 35	▲ 53	▲ 48
2020年	1～3 //	▲ 40	▲ 33	▲ 53	▲ 30	▲ 50	▲ 39
	4～6 //	▲ 12	2	▲ 32	▲ 20	▲ 27	▲ 5
	7～9 //	▲ 15	▲ 5	▲ 47	▲ 9	▲ 30	▲ 5
	10～12 //	▲ 31	▲ 16	▲ 56	▲ 19	▲ 42	▲ 30
2021年	1～3 //	▲ 23	▲ 11	▲ 53	▲ 32	▲ 46	▲ 34
	4～6 //	▲ 26	▲ 21	▲ 47	▲ 18	▲ 33	▲ 18
	7～9 //	▲ 25	▲ 19	▲ 43	▲ 25	▲ 33	▲ 17
	10～12 //	▲ 43	▲ 42	▲ 46	▲ 35	▲ 48	▲ 44
2022年	1～3 //	▲ 43	▲ 38	▲ 39	▲ 44	▲ 54	▲ 41
	4～6 //	▲ 38	▲ 30	▲ 43	▲ 39	▲ 42	▲ 40
	7～9 //	▲ 46	▲ 43	▲ 47	▲ 28	▲ 56	▲ 50
	10～12 //	▲ 50	▲ 44	▲ 63	▲ 28	▲ 53	▲ 55
2023年	1～3 //	▲ 48	▲ 41	▲ 56	▲ 39	▲ 57	▲ 54
	4～6 //	▲ 48	▲ 42	▲ 55	▲ 46	▲ 49	▲ 52
	7～9 //	▲ 49	▲ 42	▲ 63	▲ 42	▲ 47	▲ 55
	10～12 //	▲ 52	▲ 43	▲ 57	▲ 49	▲ 57	▲ 58
2024年	1～3 //	▲ 49	▲ 39	▲ 51	▲ 45	▲ 51	▲ 59
	4～6 //	▲ 46	▲ 35	▲ 53	▲ 36	▲ 52	▲ 56
	7～9 //	▲ 46	▲ 40	▲ 43	▲ 39	▲ 52	▲ 53
	10～12 //	▲ 51	▲ 42	▲ 50	▲ 41	▲ 51	▲ 63
2025年	10～12 月期見通し	▲ 52	▲ 37	▲ 54	▲ 38	▲ 37	▲ 65

(注) D.I. = 「過剰」 - 「不足」

設備投資実施割合の推移

単位：％

		全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
2012年	1～3 月期	27	30	10	32	27	29
	4～6 //	31	41	18	18	24	36
	7～9 //	37	45	23	26	30	45
	10～12 //	36	42	24	24	34	43
2013年	1～3 //	35	44	24	26	37	35
	4～6 //	31	40	24	22	23	34
	7～9 //	36	44	28	29	32	38
	10～12 //	34	39	16	28	36	40
2014年	1～3 //	36	43	34	25	44	32
	4～6 //	32	35	27	20	31	36
	7～9 //	34	39	21	17	34	41
	10～12 //	35	44	17	20	36	41
2015年	1～3 //	33	40	28	21	26	39
	4～6 //	34	38	25	26	29	41
	7～9 //	34	37	18	15	39	44
	10～12 //	36	39	28	26	38	42
2016年	1～3 //	37	42	23	32	43	40
	4～6 //	35	41	28	23	28	41
	7～9 //	40	42	31	30	48	44
	10～12 //	38	45	23	27	35	45
2017年	1～3 //	39	46	31	20	44	42
	4～6 //	40	42	26	38	34	48
	7～9 //	38	42	30	32	33	43
	10～12 //	38	44	29	28	40	39
2018年	1～3 //	39	51	25	24	40	39
	4～6 //	37	40	35	32	38	37
	7～9 //	36	39	30	24	41	39
	10～12 //	39	49	35	21	37	40
2019年	1～3 //	38	46	29	20	35	44
	4～6 //	36	36	29	28	35	42
	7～9 //	39	49	22	28	32	46
	10～12 //	37	46	29	22	32	41
2020年	1～3 //	38	38	28	28	24	48
	4～6 //	30	33	30	24	25	31
	7～9 //	34	38	19	21	36	39
	10～12 //	34	42	22	28	29	38
2021年	1～3 //	34	33	34	21	37	38
	4～6 //	35	38	33	30	30	38
	7～9 //	36	43	29	20	33	40
	10～12 //	35	39	15	34	32	41
2022年	1～3 //	34	44	20	29	24	38
	4～6 //	36	40	24	26	27	44
	7～9 //	34	38	25	41	32	34
	10～12 //	31	36	22	26	32	33
2023年	1～3 //	36	38	33	24	37	39
	4～6 //	35	41	30	26	33	37
	7～9 //	34	36	20	33	36	38
	10～12 //	33	36	22	29	39	34
2024年	1～3 //	36	34	16	26	44	44
	4～6 //	37	41	23	32	38	41
	7～9 //	39	45	28	24	40	42
	10～12 //	33	38	22	19	37	36
2025年	1～3 月期見通し	34	43	22	22	37	34

最近の業況や鹿児島県の景気の現状、CO₂排出量削減等に関する主な意見

		意 見
製 造 業	食料品	太陽光発電を設置して非化石エネルギーへの転換を図っている。また、今後は社有林におけるカーボンクレジットについても検討したい。
		従業員の賃金アップを進めているが、価格転嫁が十分に行えておらず、厳しい状況が続いている。価格高騰に賃上げが追いついていない状況から消費が伸びていない印象。
		人手不足で生産量が3分の2に減少した状態が長く続いている
		所得金額に対して物価高騰に追いついていない為、個人消費の減少が目立つ。CO ₂ 削減に対しては、大手企業は、実施しているが中小企業の実施はあまり感じない。
		CO ₂ 排出量削減は、必要だと感じるが、設備等の導入するコストを考えると現状では難しい。
	窯業・土石	令和6年度は過去最低の出荷数量になると思われる。鹿児島県には公共事業予算を増やして欲しいと思う。CO ₂ 削減については、鹿児島県からCO ₂ 削減の為に試験用の製品の依頼をされており、今後も要望があれば対応していきたい。
	機械・金属	カーボンクレジットに関連し、欧州でスタートしたCBAMの影響を強く受けることになりそう
		観光客も増えつつあり景気回復は期待できると感じている。またCO ₂ は各企業も取り組み、少しずつではあるが効果を出し始めているため動向を見ていきたい。
	電機・電子	為替も後押しし、売り上げ、利益ともに過去最高をグループとして記録。来期も今期以上の結果が見込まれる。
建 設 業	土木	エコキャップ運動を推進してCO ₂ 排出量削減に努めている。
	建築	公共の交通機関で便数が減らされた反動で、マイカーも増加していると思う。道路整備も、鹿児島は全国一渋滞の多い地方都市だそうで、解消のために対策を取って頂きたい。都市部と地方の格差が広がる一方ではないかと感じている。
卸 売 業	食料品	年末年始に向けた県内外の酒類業界はとても厳しいと思われる。お歳暮の廃止・飲み会の減少・若年層の酒離れが更に拍車をかけている。
		全体的に沈滞している。行政を中心として県民を活気付けるものが欲しい。
小 売 業	スーパー	最低賃金の大幅な上昇による消費の活性化に期待している
	その他小売	カーボンクレジットは、理論上の計算で実効性の真偽に疑いがある。ゼロカーボンの実効性の具体的な対応が必要だと思う。HV・EVの導入、太陽光発電設置、再生可能エネルギーの活用などを推進すべき。
		観光、ビジネスともに交通事情の抜本的見直しが必要
そ の 他 産 業	旅館・ホテル	人手不足の早急な解決策をお願いしたい
		九州の中でもインバウンドの取り組みが遅れている。早急に対策を講じてほしい。また、CO ₂ 削減がそもそもの程度温暖化に効果があるか甚だ疑問なのでデータで示してほしい。それよりも再エネ賦課金の廃止と鹿児島の景観を守るために山林を切り開いての太陽光発電の開発をやめてほしい。
	外食産業	外食産業は、食材はもちろん、人件費、水道・光熱費の高騰で利益が出ない状況に陥っている。設備投資やIT・DXにかかる費用もない。価格転嫁もままならず、なかなか負のスパイラルから抜け出せないのが現状。環境への配慮は必要だが、中小企業を元気にする施策をもっと検討してほしい。
	その他産業	観光立県としての優位性を高めるため、起爆剤としてのウォーターフロント開発（錦江湾横断道路含め）を期待
		人件費高騰により人材確保が中小零細は年々厳しくなっている。学生が県に留まる施策を県には打っていただきたい。
	農林水産	景気については一部産業に向上が見られるが、農産物の価格転嫁等が厳しく一次産業は低迷。異常気象や燃料費高止まり等外部要因の影響が大きい。